

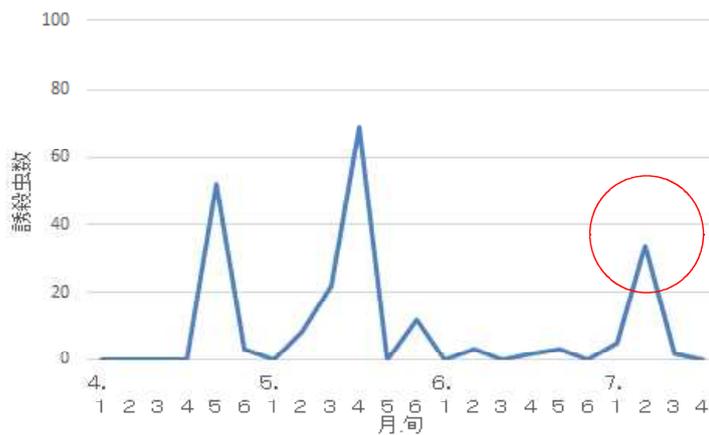
# フジコナカイガラムシ情報第2号(カキ・出雲市)

令和5年7月19日

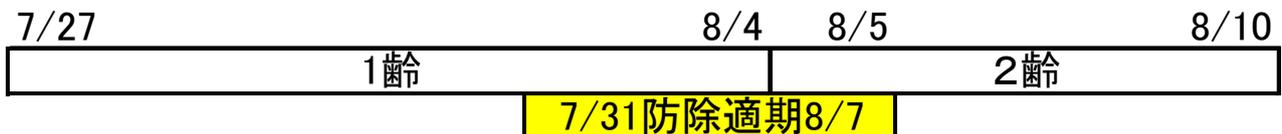
島根県病害虫防除所

予想防除適期(第2世代幼虫)：7月31日～8月7日(7月19日計算)

予測の根拠：出雲市東福町のカキ園に4月16日から性フェロモントラップを設置し、フジコナカイガラムシの越冬世代雄成虫を調査した。その結果、本年の第1世代雄成虫の誘殺数のピークは7月7日に認められた。



誘殺ピークの7月7日を起点とし平均気温(7月18日までは2023年の気温、それ以後は平年値)を用いて次世代(第2世代)の発生時期を予測すると、1齢期が7月27日～8月4日、2齢期が8月5日～10日となり、防除適期は7月31日～8月7日と推定された。



参考：フジコナカイガラムシは年3世代発生するとされています。近年、フジコナカイガラムシの性フェロモンが明らかになり、圃場における発生状況をより正確に把握できるようになりました。そこで、性フェロモントラップデータとフジコナカイガラムシの発育データを使って第2世代幼虫発生期を予測し、それに基づいて最適な防除時期を示しました。今後も雄成虫の誘殺ピークにより発生予測を行う予定です。なお、この予測は一部山間地では1週間程度遅くなりますのでご注意ください。

問合せ先  
病害虫防除所 澤村  
TEL:0853-22-6772